

# EU Indicators

発表日:2018年8月14日(火)

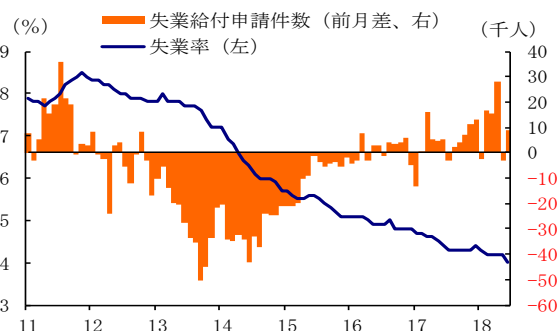
## 欧州経済指標コメント:8月英国労働統計

～失業率は43年振りの水準に低下～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

- 労働力調査ベースの英国の失業率は、6月から遡って3ヶ月の移動平均値で4.0%。前月から0.2%ポイント低下し、1975年2月以来の低水準を記録した。単月の失業率は、新たに計算に加わった6月値が3.96%と同一サンプルの3月(4.39%)から大きく水準を切り下げた。7月の失業率が3.90~4.19%の範囲内だと(同一サンプルの4月は4.15%)、来月の3ヶ月移動平均値は今月と同じ4.0%になる。
- 全産業の週当たり賃金(賞与を含む)は、6月から遡って3ヶ月の移動平均で前年比+2.4%と、前月の同+2.5%から一段と鈍化。1・2月の同+2.8%を直近ピークに上昇率が鈍化。単月の振れが大きい賞与の下押しが影響。賞与を除いた賃金は、3ヶ月移動平均値で前月:同+2.8%→今月:同+2.7%と鈍化したが、単月では前月:同+2.7%→今月:同+2.8%とやや持ち直した。
- 今月の失業率の低下は、就業者の増加ではなく、労働参加率の低下が主導した。BOEが想定するインフレを加速しない失業率(NAIRU)は4.25%。今月の計数はこれを下回ったが、今のところ賃上げが目立って加速する兆候は確認されない。労働需給の逼迫を背景にBOEは8月初旬に追加利上げを決定した。今後の利上げは年1回程度の緩やかなペースを想定しているが、今回の計数はそうした判断を裏付ける内容。

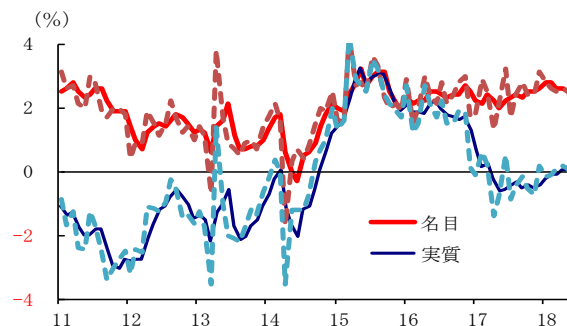
■英国:失業率と失業給付申請件数



出所:英国統計局

■英国の失業給付・平均賃金

■英国:週当たり賃金・賞与(全産業、前年比)



注:実線は3ヶ月移動平均値

出所:英国統計局

	2017		2018									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	7月
失業率(失業給付、%)	2.2	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5
失業給付件数(前月差、千人)	4.3	7.1	11.1	12.9	-2.3	16.6	15.7	28.2	-3.0	9.0	6.2	6.2
失業率(労働力調査、%)	4.3	4.3	4.3	4.4	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.0	4.0	—
(単月の失業率、%)	4.13	4.42	4.29	4.41	4.24	4.02	4.39	4.15	3.98	3.96	—	—
就業者数(前月差、千人)	-14	-56	102	88	168	55	197	146	137	42	—	—
週当たり賃金(産業計、前年比、%)	2.3	2.5	2.5	2.6	2.8	2.8	2.6	2.6	2.5	2.4	—	—
賃金	2.2	2.3	2.3	2.5	2.6	2.8	2.9	2.8	2.8	2.7	—	—
ボーナス	5.0	8.5	8.1	5.2	6.1	4.6	1.4	0.3	0.2	-2.2	—	—

注:労働力調査基準の失業率、就業者数、週当たり賃金は当月で終わる3ヶ月移動平均 出所:英国統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。